

静岡県のオープンイノベーションに係る取組について

2026年度第1回オープンイノベーション委員会

01 スタートアップ支援戦略の方向性

（1）静岡県のスタートアップ支援の目的と施策の出口

◆ スタートアップ支援の目的

1 県内企業の課題解決	2 社会課題の解決	3 雇用の創出・多様な働き方	4 新たな産業の創出
地域企業との協業による既存事業の革新	県内自治体等が抱える様々な社会課題の解決	多様な働き方の選択肢の拡大	スタートアップとの融合による新たな産業の創出

◆ 施策の出口

地域イノベーション・エコシステムの構築　　静岡県発のグローバルスタートアップの創出

スタートアップ支援の４つの目的を達成するため、
「地域イノベーション・エコシステムの構築」と「静岡県発のグローバルスタートアップの創出」
の双方の実現を目指す様々なスタートアップ支援施策を展開
（「ゼブラ/ローカルゼブラ」から「ユニコーン/ガゼル」までのスタートアップを対象）

（2）「目指す地域の姿」とロードマップ

目　標

10年後の姿（R15）

スタートアップにとってフレンドリーな静岡県

- ○ 多彩な地域資源を活用し、成長を目指してＳＵが活躍できる地域
- ○ 産学官金の連携によるコミュニティが、県内各地で形成される地域
- ○ ＳＵへの理解が浸透し、ＳＵ型起業を目指す者が多く生まれる地域

Ⅲ エコシステム形成・発展

7～9年目（R12～14）

- ・成長したＳＵが支援者として新たなＳＵを生み育てるエコシステムの形成
- ・静岡発のＳＵが国内外で活躍
- ・国内外のＳＵが静岡に集積
- ・SUを志す者が増加、起業の裾野が拡大

Ⅱ 成長加速

4～6年目（R9～11）

- ・東部・中部・西部のコミュニティが有機的に機能し、県内各地にＳＵが増加
- ・支援拠点を核としたネットワーク強化
- ・ＳＵの更なる成長支援と共創促進
- ・将来の選択肢としてＳＵが浸透

Ⅰ 人・場づくり機運醸成

1～3年目（R6～8）

- ・県内企業や県民が、SUを身近に感じるようにＳＵの誘致や創出支援に注力
- ・県内企業や県民の機運醸成
- ・成功事例の創出、コミュニティ形成支援
- ・学校等と連携した次世代の人材育成

02 スタートアップ支援戦略２０２６の全体像

02 全体像

目　的　1 県内企業の課題解決　2 社会課題の解決　3 雇用の創出・多様な働き方　4 新たな産業の創出

目指す地域の姿
- ○ 多彩な地域資源を活用し 成長を目指してスタートアップが活躍できる地域
- ○ 産学官金の連携によるコミュニティが県内各地で形成される地域
- ○ スタートアップへの理解が浸透し起業を目指す者が多く生まれる地域

→ スタートアップフレンドリーな静岡県へ

2026方針　① スタートアップ支援の効果の地域への波及（創出・育成・連携・誘致＋波及）　② ＡＩ技術の県内への導入促進

施策展開

Ⅲ エコシステム形成・発展
Ⅱ 成長加速
Ⅰ 人・場づくり機運醸成

地域イノベーション・エコシステムの構築（ゼブラ/ローカルゼブラ）
静岡県発のグローバルスタートアップの創出（ユニコーン/ガゼル）

国等の施策との連携　CENTRAL JAPAN

取組の拡大 地域への波及 誘致促進
TECH BEAT Shizuoka / SEEEAs Shizuoka / cic 首都圏 共創拠点 / ICOI プロジェクト 温泉旅館 オフィス

マッチング・実証実験支援
- 県内企業・自治体とのマッチング（TECH BEAT Shizuoka）
- 地域とのマッチング・実証実験支援（CO-LAB Shizuoka）
- 県マッチング公共調達モデル創出
- 【新規】中小企業へのＡＩ導入実証支援
- 特定分野の支援（スポーツ・観光・環境 等）

各事業を有機的に連携させるハブ機能
中核支援拠点の運営　SHIP

より効果的な資金調達支援の検討
資金調達支援
ＶＣと連携した資金調達支援　SHIZUOKA FUND SUPPORT

海外展開支援【新規】　VIVA TECHNOLOGY

大学発ベンチャー支援
県内大学協議会・コーディネーターマッチング等

Fuji PharmaValley / MaOI Institute / AOI-PARC / PHOTONVALLEY

次世代産業関連ＰＪの支援プラットフォームを活用した研究開発系スタートアップの支援
- 医療健康産業（ファルマ、ウェルネス）
- 海洋産業（MaOI）
- 農業（AOI, ChaOI）
- 光・その他製造業（フォトン、CNF、モビリティ等）

Open-Innovation 静岡市コ・クリエーションスペース / SEEEAs Shizuoka / LtG Startup Studio / FUSE / COMPASS
地域コミュニティ形成
県内各地域のコミュニティの形成支援・支援拠点同士の連携強化

国内外のネットワーク拡大　cic 首都圏拠点の運営等

次世代人材育成（アントレプレナーシップ醸成）
【新規】次世代ＡＩ人材育成プログラム（ビジネスプランナー/エンジニア）
→ 起業等を目指す学生コミュニティの運営・更なる挑戦の促進
CREW'S produced by SHIP
← 県内外のアントレプレナープログラムの情報・人材集約

静岡県の地域資源・地域特性　全国屈指の「ものづくり県」、多彩な農林水産物、駿河湾・伊豆半島・富士山等の豊かな自然環境
全国トップの健康長寿県、交通ネットワーク、スポーツ・文化・観光資源、防災先進県　など

ミドル（産業化）
アーリー（事業化）
シード（創業・開発）
プレシード（創業前）

（2）２０２６年度スタートアップ関連事業予算

〔スタートアップ支援事業費 デジタル人材確保育成事業費〕

単位：千円

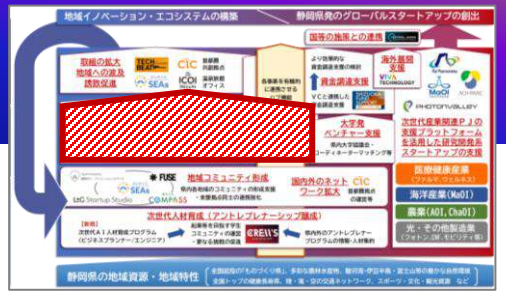
	カテゴリー	事業概要	R7当初	R8当初	区分
Ⅰ 人・場づくり 機運醸成	(1) 中核支援拠点の運営 (3) 地域コミュニティ形成 ※ (2)(9)の一部含む	・SHIPスタートアップ支援 ・SEEEAs Shizuoka ・学生起業家コミュニティ「CREWS」	71,000	71,000	
	(2) 次世代人材育成	・次世代ＡＩエンジニアコンテスト【新規】	－	10,000	
		・次世代ＡＩビジネスプランナー育成プログラム【新規】	－	20,000	
	(4) 国内外のネットワーク拡大	・首都圏スタートアップとの共創拠点設置	8,600	8,500	
Ⅱ 成長加速	(5) マッチング・実証実験支援	・TECH BEAT Shizuoka 開催【拡充】	35,000	50,000	
		・実証実験サポート事業	40,000	40,000	
		・公共調達モデル創出事業【拡充】	16,500	32,000	
		・ＡＩを活用した中小企業の課題解決支援【新規】	－	30,000	
	(6) 大学発ベンチャー支援	・大学発ベンチャーの発掘・育成 ・インキュベートセンター管理運営	18,900	18,900	
	(7) 資金調達支援	・ファンドサポート事業	450,000	365,000	
	(8) 次世代産業関連プロジェクトとの連携	・各次世代産業関連プロジェクト（ファルマ、MaOI、AOI、フォトン等）	別事業計上	別事業計上	
		・プロジェクト参加企業とスタートアップとのマッチング【新規】	－	8,000	
Ⅲ エコシステム 形成・発展	(9) 取組拡大・地域波及・誘致促進	・温泉旅館オフィス化事業	別事業計上	別事業計上	
	(10) 海外展開支援	・海外スタートアップイベントへの出展支援【新規】	－	9,000	
	(11) 国等の施策との連携	・スタートアップエコシステム拠点都市【新規】	－	1,400	
その他	（その他デジタル人材確保・育成）	・大学連携講座、ICT企業誘致助成 等	153,500	114,600	－
	R7終了事業	パブリックピッチイベント、Shizuoka Startup Day、ネクストイノベーター創出プロジェクト「FuJI」	40,000	－	－
合　計			833,500	778,400	

03 オープンイノベーションに関する取組

03 施策 マッチング・実証実験支援

R8当初：5,000万円

育成 誘致 波及



① TECH BEAT Shizuoka

首都圏スタートアップと県内企業とのビジネスマッチングイベントを開催し、**新たなビジネスの需要創出と県内企業の課題解決**を図る。

【TECH BEAT Shizuoka概要】

主 催	TECH BEAT Shizuoka 実行委員会（事務局：静岡県、静岡銀行）
主なコンテンツ	・出展スタートアップと来場企業との個別商談 ・県内企業代表者や有識者等による基調講演やトークセッション ・デジタル技術等を活用した体験型コンテンツ

【２０２６開催実績（7.23-25）】

来場者数	商談数	出展スタートアップ	協賛企業	来場者満足度
14,684人	216件 ※	205社	129社	81.5%

※ 当日終了時点





03 施策 次世代産業関連プロジェクトとの連携

別事業計上

創出 育成 連携 誘致 波及



① 次世代産業関連ＰＪを活用した研究開発系スタートアップの育成

地域の特性を活かし、本県経済を牽引する産業を創出することを目的に、県内各地にイノベーション拠点を設け「次世代産業関連プロジェクト」を展開。各産業分野における研究開発の支援や、スタートアップと地域企業等とのマッチングなどオープンイノベーションの促進を図る。



【主な次世代産業関連プロジェクト概要】

ファルマバレープロジェクト（医療、医薬品等）	医療健康産業の振興と集積等を図り、医療田園都市構想を推進 【拠点施設】ファルマバレーセンター（長泉町）
MaOIプロジェクト（海洋・水産）	静岡の海をフィールドに、海洋産業振興と環境保全の世界的拠点形成を推進 【拠点施設】MaOIーPARC（静岡市）
AOIプロジェクト（農業）	栽培技術開発により農業の生産性向上を図るとともに、農業を軸としたビジネス展開を促進 【拠点施設】AOIーPARC（沼津市）
フォトンバレープロジェクト（光・電子技術）	光・電子技術を活用し、県内産業の新事業展開等を支援 【拠点施設】フォトンバレーセンター（浜松市）



次世代産業関連プロジェクト 1/2

○ 次世代産業関連プロジェクト

「次世代モビリティ」「航空宇宙」プロジェクト



地域企業の持つ固有技術を活かし、EV、ドローン・空飛ぶクルマなど次世代モビリティの部品開発を支援

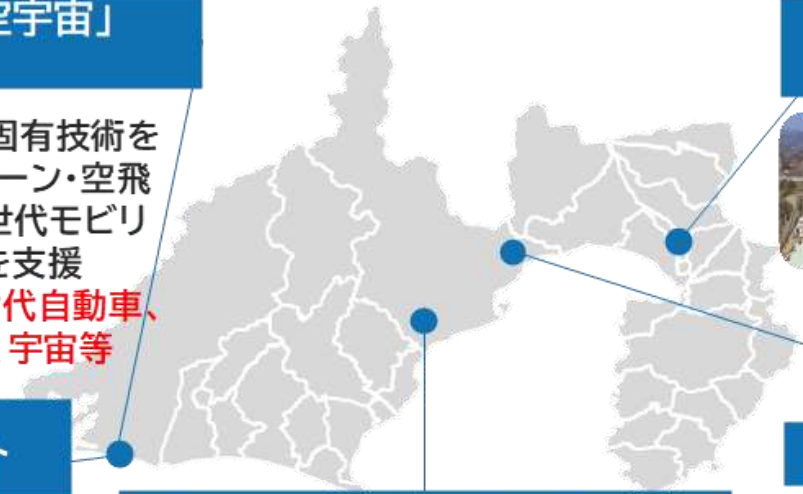
○関連分野：次世代自動車、エアモビリティ、宇宙等

ファルマバレープロジェクト



医療健康産業の振興と集積等を図り、医療田園都市構想を推進

○関連分野：医療、医薬品、医療機器等



フォトンバレープロジェクト



光・電子技術を活用し、県内産業の新事業展開等を支援

○関連分野：光・電子技術

静岡ウェルネスプロジェクト



先端技術や医療・健康データを活用し、県民の健康寿命の延伸と、食品や健康関連産業の振興を推進

○関連分野：食品、健康、化粧品等

ふじのくにCNFプロジェクト



植物由来で軽量・高強度の新素材セルロースナノファイバー（CNF）を利用した製品開発を支援

○関連分野：CNF

次世代産業関連プロジェクト 2/2

○ 次世代産業関連プロジェクト

AOIプロジェクト



栽培技術開発により農業の生産性向上を図るとともに農業を軸としたビジネス展開を促進

○関連分野：農業

MaOIプロジェクト



静岡の海をフィールドに、スタートアップ誘致等を進め、海洋産業振興と環境保全の世界的拠点形成を推進

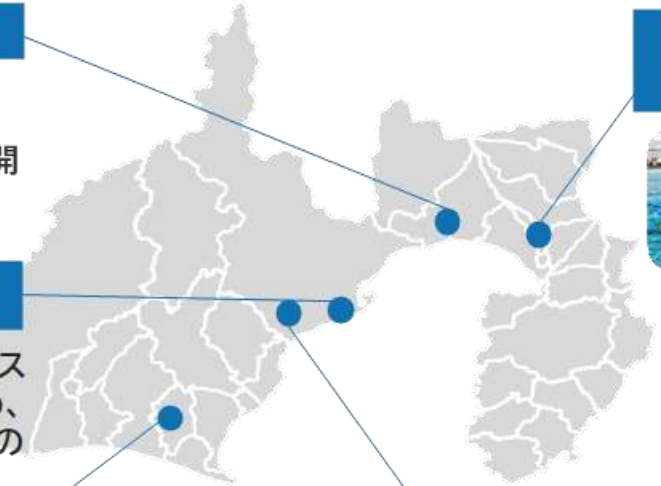
○関連分野：海洋、水産等

ChaOIプロジェクト



お茶の「新たなブランド価値」の創造と出口戦略に基づく商品開発の強化

○関連分野：茶業



伊豆ヘルスケア温泉イノベーション（ICOI）プロジェクト



伊豆の温泉等を活用し、スタートアップ誘致などにより新たな産業を創出

○関連分野：温泉、文化、観光、ヘルスケア等

FAOIプロジェクト



森林の適正管理による公益的機能の発揮と森林資源の循環利用による林業の成長産業化に向けて、森林のデジタル情報基盤の整備や先端技術の現場実装などを推進

○関連分野：林業、木材産業

その他の次世代産業振興策

半導体関連、医療・福祉機器、ロボット関連、環境・新エネルギー関連

04 施策 （8）次世代産業関連プロジェクトとの連携

R8当初：800万円

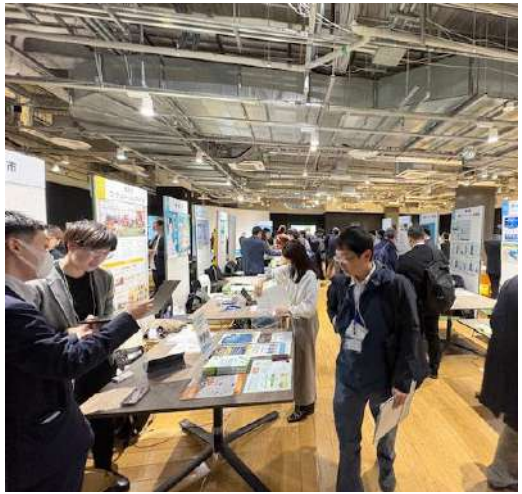
育成 連携 誘致 波及



② 次世代産業関連ＰＪ参加企業とスタートアップとのマッチング支援【新規】

次世代産業関連プロジェクトと首都圏スタートアップとの共創を促進するため、各プロジェクトの抱える課題解決につなげるマッチングイベントを東京都内で開催する。





Fuji Pharma Valley　MaOI Institute　AOI-PARC　PHOTONVALLEY

次世代産業関連プロジェクト

- 中核支援機関（コーディネーター等）
- フォーラム参加企業・研究機関等
- 研究開発や事業化の支援（助成等）
- 実証フィールド　　等の支援体制

×

首都圏スタートアップ

04 スタートアップ支援戦略２０２６の各施策

（1）中核支援拠点の運営

R8当初：7,100万円の内数

創出 育成 連携 誘致 波及



○ イノベーション拠点「ＳＨＩＰ」によるスタートアップ支援

県イノベーション拠点「ＳＨＩＰ」において、デジタル人材の育成支援、企業等のオープンイノベーション促進支援に加え、**スタートアップの相談に対応するワンストップ窓口を設置**し、スタートアップをはじめとした県内のイノベーションの活性化を図る。
加えて、**各支援施策の情報を集約し、施策を繋ぐハブの役割を果たす。**

SHIP
SHIZUOKA INNOVATION PLATFORM





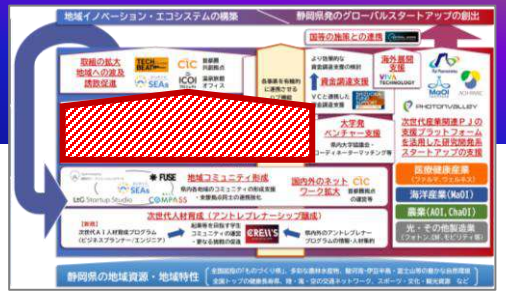
【ＳＨＩＰ概要】

設置場所	静岡市葵区呉服町
会　　員	3,507人（2025年12月末時点）
相談体制	スタートアップ相談員を3名配置（受付時間：平日12時～20時）
相談事例	・事業計画ブラッシュアップ ・投資家へのアプローチ方法助言 ・協業先や専門家の紹介　ほか

04 施策 （2）マッチング・実証実験支援

R8当初：4,000万円

育成　誘致　波及



○ 実証実験サポート事業

静岡県をフィールドに実証実験を行うスタートアップに対し、資金面や地域とのマッチング等の支援を行うことにより、**スタートアップの成長を後押しするとともに、地域課題の解決につなげる。**

【実証実験サポート事業概要（２０２５年度実績）】

事業名称	CO-LAB Shizuoka（コラボシズオカ）
概　要	地域課題等の解決のためにスタートアップが県内で実施する実証に対して、県による実証経費の補助(1/2、上限200万円)や、地域パートナーによる実証フィールドの斡旋・提供などの支援を実施 ＊ 地域パートナー…自治体、商工会議所、金融機関、支援機関等
実績等	採択SU：10社、地域パートナー：37団体
実証期間	補助金の交付決定日(2025.12月中旬)から2026.2月末まで





（3）資金調達支援

R8当初：36,500万円

育成　誘致　波及



○ 静岡県ファンドサポート事業

県が認定したベンチャーキャピタル（ＶＣ）から出資を受けたスタートアップに対して交付金を交付するとともに、成長支援等を実施する。
今後、より効果的な資金調達支援のあり方・枠組みについても検討する。



【ファンドサポート事業概要】

対象事業	以下のいずれかに該当し、県内で実施する事業 ・**次世代産業関連プロジェクトに関連する分野**（ファルマ、CNF、MaOI等） ・**県内企業との協業や地域の課題解決に資する分野**
対象者要件	・県内に本社又は主たる事業所を置く中小事業者（登記必要）【共通】 ・2年以内に本県内の事業所で正社員を新規雇用又は役員を新たに配置【一般枠】 ・起業から5年以内で研究開発を実施【シード枠】 ほか
交付率・上限額	＜シード枠＞ **2／3　上限1,000万円**　＜一 般 枠＞ **1／2　上限4,000万円**
採択後支援	・**成長支援**（専門家助言、事業展開支援等） ・**財務管理体制の強化**（経理指導、定期的な検査）
認定VC	61**社**（静岡キャピタル、Carbide Ventures、AKaFUJI ほか）

